



# 2002年アカデミー賞受賞

助演男優賞(ジム・ブロードベント)

主演女優賞(ジュディ・デンチ)・助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)ノミネート

## 2002年英国アカデミー賞(BAFTA)

主演女優賞受賞(ジュディ・デンチ)  
主演男優賞(ジム・ブロードベント)  
助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)  
助演男優賞(ヒュー・ボナヴィル)  
作品賞・脚色賞ノミネート

## 2002年ゴールデン・グローブ賞

助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)  
主演女優賞ノミネート(ジュディ・デンチ)  
助演女優賞ノミネート(ケイト・ウィンスレット)

# アイリス

ジュディ・デンチ ジム・ブロードベント ケイト・ウィンスレット

ヒュー・ボナヴィル ペネロープ・ウィルトン サミュエル・ウェスト テイモシー・ウェスト エレノア・ブロン

監督:脚本リチャード・アプト 原作:ジョン・ベアリー 音楽:ジェームズ・ニューサー ヴァイオリン演奏:ジョシュア・ベル 2001年イギリス・インターメディアフィルム  
ス、BBCフィルムズ、ミラマックス・フィルムズ提供/ミラー・ジュエリー・プライズ、ロバート・フォックス、スコット・ルディン/プロダクション作品/原作:朝日新聞社刊  
「アイリスとの別れ」1:作家が過去を失うとき/サウンドトラック:ニュー・クラシカル/後援:ブリティッシュ・カウンシル/配給:松竹

INTERMEDIA FILMS BBC FILMS MIRAMAX FILMS PRESENTS A FILM BY JUDITH APTO "IRIS" CASTING DIRECTOR COLLETTA FOX Hair & Make-  
up designer LISA WESTCOTT Costume designer KATHY YEN Executive producer JAMES HOBBER Produced by JAMES HOBBER  
Editor MARTIN WALSH Production designer CELIA JAMESON Music by JAMES NEWSON Executive producer ROGER PRATT BSC Line producer MICHAEL DREYER  
Executive producers ANTHONY MIBRANE JOHN BURNETT JOHN MARYON JOHN M. THOMPSON TUM BRIDLEY HARVEY WEINSTEIN

# IRIS

幾千の言葉を失って、私たちはやっと愛に辿り着いた。



“イギリスで最も素晴らしい女性”と讃えられる作家アイリス・マードックとその夫ジョンの激しくも深い愛の軌跡。  
数々の映画賞に輝く、真実のラブ・ストーリー



# 運命が全てを奪おうとも、 この愛だけは永遠に奪えない… 数々の映画賞に輝く、真実のラブ・ストーリー

深く強い愛を描いた永遠のラブ・ストーリーが誕生した。積み重ねる歳月と共に形はさまざまに変わりながらも、決して消えない愛。それは昔話でもなければ、お伽話でもない。現代を生きる男女が幾多の運命を乗り越えて結び合った魂の絆の物語なのだ。主人公は、「イギリスで最も素晴らしい女性」と讃えられる、実在した作家のアイリス・マードックと、その夫のジョン・ベリリー。アイリスは作家としても高く評価されていたが、自由な精神を持つエネルギー溢れるパーソナリティで、イギリス女性のアイコン的存在でもあった。常に奔放な言動で周りを驚かせ、時代の先頭を走っていた。

1950年代、二人はオックスフォード大学で出会う。一目でアイリスに恋をしたジョン。恋愛経験豊富なアイリスは、複数の恋人と付き合いながら、ジョンの純粋さに惹かれていく。やがて本当の自分を理解してくれるのはジョンだけだと気づいて彼と結婚、その後は次々と小説を発表し、一流の作家になる。

そして現在。歳月を経て、二人の愛は穏やかに深まった。ジョンは輝き続けるアイリスを心の底から敬愛していた。そんなある日、アイリスに現代の医学ではどうすることもできない、アルツハイマーという悲しい運命が降りかかる。時にくじけそうになりながらも、持ち前のユーモアを忘れずに愛だけを武器に運命に立ち向かうジョン。それは、人はどこまで人を愛せるのかという永遠の問いかけへの、傷だらけで美しい回答だった。



## 一人の人物をアカデミー賞受賞俳優が演じわける 豪華で贅沢な競演の実現

現在と若き日のアイリスを、本作でアカデミー賞とゴールデングローブ賞に各々ノミネートされたジュディ・デンチとケイト・ウィンスレットが演じわける。『恋におちたシェイクスピア』でアカデミー賞助演女優賞を受賞したジュディ・デンチは、名実共にイギリスを代表する大女優。作家であるアイリスにとって、言葉を紡ぐことは人生そのもの。まさに命である言葉をなくしてしまう恐怖と苦しみを細やかな表情や声で表現。『タイタニック』のケイト・ウィンスレットは、素晴らしい知性と魅力的な容姿を合わせ持ち、どんなに多くの恋愛を経験しても、その純粋さには一点の曇りもない若き日のアイリスを生きたと演じた。本作は、間違いなく彼女の代表作となるだろう。

ジョンもまた、現在と若き日を『ムーン・ルーシュ』のジム・ブロードベントと、『ノッティングヒルの恋人』のヒュー・ボナヴィルが演じわけている。ジム・ブロードベントは、立居振舞に常にユーモアを漂わせながらも、次第に病に侵まれていく妻を大きな愛で包み込む夫を熱演、本作で見事アカデミー賞助演男優賞、ゴールデングローブ賞最優秀助演男優賞を受賞した。

## イギリス演劇界の重鎮、 リチャード・エアの下に 超一流スタッフが集結

監督・脚本を手掛けたリチャード・エアは、ロイヤル・ナショナル・シアターの芸術監督を務め、「三文オペラ」リチャード三世「ハムレット」などの舞台で、数々の賞を受賞しているイギリス演劇界の重鎮。アイリスとジョンの過去と現在をテンポよく行き来することによって、二人の絆の秘密を、まるで少しずつ謎解きをするかのように明かし、熟練した手腕を発揮した。

また、記憶をなくし、言葉も失うというアルツハイマーの症状にも真つ向から取り組みながら、哀しみはあっても悲惨さはないという稀有な世界を成功させた。アルツハイマーの描き方に温かい視線と希望を感じさせるのは、自身の母親も同じ病を患っていたことと少なからず関係があるだろう。近年はオペラの演出も手がけ、日本でも9月に「フィガロの結婚」の上演が決まっている。

川や海など自然の風景を瑞々しく切り取った撮影家のロジャー・プラットは、『このこの終わり』でアカデミー賞撮影賞にノミネートされ、その後も『ハリ・ポッターと賢者の石』『ショコラ』などの話題作を手がけている。音楽では、世界的に人気の高い若手ヴァイオリニスト、ジョシュア・ペルの参加も大きな話題である。

### 2002年アカデミー賞

- 助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)
- 主演女優賞/ミネート(ジュディ・デンチ)
- 助演女優賞/ミネート(ケイト・ウィンスレット)

### 2002年英国アカデミー賞(BAFTA)

- 主演女優賞(ジュディ・デンチ)
- 主演男優賞(ジム・ブロードベント)
- 助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)・助演男優賞(ヒュー・ボナヴィル)
- 作品賞・脚色賞/ミネート

### 2002年ゴールデングローブ賞

- 助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)
- 主演女優賞/ミネート(ジュディ・デンチ)・助演女優賞/ミネート(ケイト・ウィンスレット)

### 2002年バラエティ誌ショービジネス賞

- 最優秀映画女優賞受賞(ジュディ・デンチ)

### 2002年SAG(アメリカ俳優協会)賞

- 主演女優賞/ミネート(ジュディ・デンチ)
- 助演男優賞/ミネート(ジム・ブロードベント)

### 2002年イヴニングスタンダード・英国映画賞

- 最優秀映画女優賞受賞(ケイト・ウィンスレット)

### 2002年ベルリン国際映画祭

- ニュータレント賞受賞(ヒュー・ボナヴィル)
- 金熊賞/ミネート(リチャード・エア)

### 2001年ナショナル・ボード・オブ・レビュー賞

- 助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)

### 2001年LA批評家連盟賞

- 助演男優賞受賞(ジム・ブロードベント)・助演女優賞受賞(ケイト・ウィンスレット)

### 2001年ロンドン批評家協会賞

- 主演女優賞受賞(ジュディ・デンチ)
- 作品賞・主演男優賞(ジム・ブロードベント)・助演女優賞(ケイト・ウィンスレット)/ミネート

ジュディ・デンチ/ジム・ブロードベント/ケイト・ウィンスレット/ヒュー・ボナヴィル/ベネローア・フィリッパ/サムエル・ウェスト/ティモシー・ウェスト/エレノア・フロン/監督・脚本リチャード・エア/原作:ジョン・ベリリー/脚本:チャールズ・ウッド/プロデューサー:ロバート・フォックス、スコット・ルディン 製作総指揮:アンソニー・ミンケラ、ジドニー・ボラック 製作:ガイ・イースト、デヴィッド・M・トンプソン、トム・ペレヘー、ハーヴェイ・ウェインスタイン/撮影:ロジャー・プラット/美術:ジェマ・ジャクソン/衣装:ルース・マイヤーズ/編集:マーティン・ウォルシュ/音楽:ジェームズ・ホーナー/ヴァイオリン演奏:ジョシュア・ペル 2001年イギリス/インターメディアフィルムズ、BBCフィルムズ、ミラマックスフィルムズ提供/ミラー・ショーエンタープライズ、ロバート・フォックス、スコット・ルディン/プロダクション/カラー/1時間31分/ワイドサイズ/ドルビー・デジタル/日本語字幕:古田由紀子/原作:朝日新聞社刊「アイリス」の別れ 1:作家が過去を失うとき/サウンドトラック:ソニークラシカル 配給:松竹 MIRAMAX 配給



**今秋 感動のロードショー** (上映スケジュールは劇場にお問合せください)

特別前売鑑賞券好評発売中! 一般券 ¥1,500 shu uemura tokyo paris new york

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット各種プレイガイドにて発売中!! (当日一般¥1,800のところ)

劇場窓口にてお買い求めの方に、シュウウエムラのディープシーウォーターをプレゼント!(先着限定)

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト4F

**梅田ガーデンシネマ**

06-6440-5977 www.cineplex.co.jp

\* 毎土・日・水曜日より祝日は混雑状況に関わらず入場整理券を発行します

梅田スカイビル  
タワーイースト4F

JR大塚駅  
徒歩10分

梅田駅  
徒歩5分

西淀川駅  
徒歩10分

JR大塚駅  
徒歩10分

梅田駅  
徒歩5分

西淀川駅  
徒歩10分

梅田スカイビル  
タワーイースト4F